

1. 研究開始当初の背景
2. 研究の目的
3. 研究の方法
4. 研究成果

↑ Word 版のテンプレートと同じ記載内容

5. 簡単な説明

5. 1 フォント

Word 版と同じ見た目にするために、フォントは MS 明朝を使用します。msmincho.ttc というファイルを LaTeX から見える位置 (例えば、ソースのディレクトリ) に置いてください。MS ゴシックのフォントファイル (msgothic.ttc) が無いとコンパイル時に怒られるようなのですが、使っていなかったら実害は無いみたいです。

5. 2 参考文献

参考文献の例です [2, 1]。

なんとなく、参考文献には BibLaTeX を使っています。そのため、コンパイル時は

```
# pdfuplatex report.tex
# biber report
# pdfuplatex report.tex
# pdfuplatex report.tex
```

の要領でコンパイルしてください。その影響 (?) で、bib ファイル中の日本語の参考文献には

```
langid = {Japanese},
```

を入れないと、最終著者の前に and が入ります。

まあ、BibTeX に変更してもらっても良いと思います。

5. 3 縦横の文字数を数えるためのテストパターン

多分使わなくても良いと思いますが、Word 版と文字数、行数を比較するときには、dummy.tex を読み込んでください。

```
\input{dummy.tex}
```

の要領です。

5. 4 Known Issue

Word と LaTeX で改行ルールがちょっと違うようで、同じ文章でも、Word と LaTeX で行数が変わってきます。でも、まあ、普通はこの差に気づかないと思うので、問題無いと思っています。

5. 5 使用実績

この研究課題 (<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-17H01803/>) の報告書で使いましたが、何も言われませんでした。多分、Word では無いとバレてないと思います。:-)

参考文献

- [1] Masakazu Iwamura and Somebody Else. “Pseudo paper”. In: *Predatory journal* 10.7 (July 2016).
- [2] 府立 太郎, 大阪 みなみ. “ダミー文献”. In: *怪しい会議*. Mar. 2016.